



平成 30 年 5 月 17 日

独立行政法人国立科学博物館

企画展「高山植物～かけがえのない高嶺の花たち～」のご案内

国立科学博物館筑波実験植物園(園長 樋口 正信)において、来る 5 月 19 日(土)から 5 月 27 日(日)まで、企画展「高山植物～かけがえのない高嶺の花たち～」を開催いたします。

日本の高山帯や亜高山帯には、高山植物と呼ばれる多種多様な植物が自生しています。それらの植物は、美しい花をはじめとする形態や、高山の厳しい環境でもたくましく生育する生態がじつに多様です。本企画展では、高山植物の多様性を多くの来園者に体感していただくと共に、高山植物に関する科学的知見をはじめ、高山植物を取り巻く危機的な状況についても広く発信することを目的とします。筑波実験植物園の保有する生きた高山植物コレクションや当館の標本資料、最新の研究成果を含むパネル展示などから、「高山植物とはどんな植物?」といった疑問にわかりやすく答えます。さらに、高山植物の中でも絶滅のおそれの高い植物を展示するコーナーも設け、私たちの貴重な財産である高山植物に今何が起きているのかをご紹介します。

つきましては、展示のオープンに先立ち、5 月 18 日(金)午後 1 時 30 分～2 時 30 分の間プレス内覧会を実施いたしますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

本件についての問合せ

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：村井 良徳(植物研究部 多様性解析・保全グループ)

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998

E-mail:t-shuzai@kahaku.go.jp

国立科学博物館HP

<http://www.kahaku.go.jp/>

国立科学博物館筑波実験植物園HP

<http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

企画展「高山植物～かけがえのない高嶺の花たち～」実施要項

1. 目的 高山植物の多様性とその研究、さらに高山植物を取り巻く危機的な状況について広く発信することを目的とする。
2. 名称 企画展「高山植物～かけがえのない高嶺の花たち～」
3. 主催 独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園
4. 協力 白馬五竜高山植物園
5. 会期 平成30年5月19日（土）～平成30年5月27日（日）計9日間
（会期中は休園なし）
6. 場所 筑波実験植物園教育棟、多目的温室、研修展示館（1階）、園内の植栽区画

7. 展示構成

第1会場 教育棟

日本産を中心とした高山植物の写真展

第2会場 多目的温室

高山植物の展示（日本産を中心に、近縁種の多いヒマラヤやヨーロッパアルプス産を含む）
会期中には「ヒマラヤの青いケシ」と呼ばれるメコノプシスも展示予定
（※栽培および開花調整が難しいため、毎日開花するとは限りません）

第3会場 研修展示館1階

パネルを中心に、高山植物の多様性やその研究、絶滅危惧種が多い状況や保全に関する取り組みなどを紹介

第4会場 園内

岩礫地植物（山地性）や山地草原（高地性）区画に植栽されている高山植物を紹介

8. 関連事業

企画展前のプレセミナー（既に終了）

植物園研究最前線「高山植物のふしぎ」

日時 5月6日（日） 13:30-14:30

場所 研修展示館3階セミナー室

講師 植物研究部 村井良徳

※要事前予約 1か月前から電話にて受付

企画展特別セミナー

①「白馬の高山植物の保全-現地での活動と植物園による域外保全」

日時 5月19日（土） 13:30-14:30

場所 研修展示館3階セミナー室

講師 坪井勇人（白馬五竜高山植物園）

定員 30名

※要事前予約 1か月前から電話にて受付

②「北海道の高山植物-その由来と保全」

日時 5月26日(土) 13:30-14:30

場所 研修展示館3階セミナー室

講師 中村 剛(北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園
※略称:北海道大学植物園/農学院)

定員 30名

※要事前予約 1か月前から電話にて受付

展示案内

日時 5月19日(土)、21日(月)、26日(土) 各日とも10:30~11:00

場所 教育棟集合

解説 植物研究部 村井良徳

※予約不要 当日参加

9. 来園者特典

平日限定、先着100名にプチギフトをご用意してます

10. クイズラリー

日時 会期中毎日

クイズラリーの台紙は、企画展の小冊子の裏表紙にあり(配布場所 教育棟)

内容 展示されている高山植物やパネルの内容などに関するクイズラリー



ハヤチネウスユキソウ(キク科)
早池峰山(岩手県)のみに自生する。
盗掘により個体数が減少し、絶滅危惧
種に指定されている。ヨーロッパアル
プスに自生するセイヨウスユキソウ
(別名 エーデルワイス)の仲間。



コマクサ(ケシ科)
高山の厳しい環境で美しい花を咲かせ
る。「高山植物の女王」とも呼ばれる。
かつては薬用として採取され、個体数
が減少した。